

2008年12月9日  
財団法人 日本自動車研究所  
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30

## 『ITS 産業動向調査報告書』2008年版発行

### 「これからのITS市場」をJARIが独自予測

財団法人 日本自動車研究所（理事長：青木 哲 本田技研工業(株)取締役会長、以下 JARI）は、この度「ITS 産業動向に関する調査研究報告書～ITS 産業の最前線と市場予測 2008～」(A4 版 350 頁、頒布価格 10,000 円) を発行した。

本報告書は、ITS 関連のアナリストとエンジニアから構成される ITS 産業動向調査研究会にて、ITS 関連企業や ITS 関連省庁などに対するアンケートとインタビューを行い、その調査結果をまとめたもので、1998 年度から毎年継続して発行している。

現在、「IT 新改革戦略」で掲げられた ITS を活用した「世界一安全な道路交通社会」の実現に向けて、官民挙げての開発が進められている。2009 年 2 月には、各地で進められていた地域実証実験の結果を持ちよった大規模実証実験が行われる予定になっており、効果検証を経て実用化に向けての取り組みが進められることになっている。当報告書では、こうした新しい安全運転支援システムの実現に向けての取り組みや、その実現に向けて欠かせないナビゲーションや DSRC などの動向について網羅的な調査を行っている。

今後、安全だけでなく、環境への貢献に向けて期待が寄せられている ITS 産業の現状を把握し、将来の ITS を展望する上での資料として、ITS 関係者のみならず、新規に参入しようとしている企業にとってもご活用いただける内容となっている。

#### ＝特 長＝

本報告書では、ITS 全般の技術動向と市場動向を網羅的に調査したことに加え、実際に市場が動き出しているカーナビゲーションや ETC などの分野については、ビジネスターゲットとして関心が高い 3～5 年後の市場予測を独自に行った。また、これから発展が期待できそうなサービス分野については今後の発展の方向を考察し、それらの市場が発展していくための課題について提言をまとめた。

#### 《ナビゲーション車載機市場》

カーナビゲーションについては、海外輸出向け推定台数を除外した 2008 年度の純粋な国内市場についての予測を行った。その結果、2008 年度のカーナビゲーションの国内出荷台数は、300 万台となり、前年度比 7%減となり、国内市場は縮小局面に入ったと推定している。

また、昨年度に引き続き、欧米のカーナビ・PND（簡易型カーナビ）の市場についての予測と併せて、今年度から PND の国内出荷台数の予測を行い、2008 年度の出荷台数を 90 万台と予測した。

**!! ナビゲーションに関する予測として、**

**国内向け出荷台数、国内向け出荷金額の純粋な国内新予測を掲載 !!**

## 《安全運転支援分野》

2009年2月に大規模実証実験が予定されている世界一安全な道路交通社会を目指して開発が進められている「IT 新改革戦略」の取り組みについて、その概要が把握できるようにしたことに併せて、[各プロジェクトのキーパーソンにインタビュー](#)を実施し、今後の実用化に向けての課題の抽出・提言を行った。

また、市場に出回り始めたプリクラッシュセーフティシステムや、車間距離制御型の定速走行装置（ACC）などの[安全運転支援装置の市場見通し](#)について、昨年度の調査結果を関係者に提示し、その予測との比較を試みることで今後の方向が見えるようにした。

**!! 「IT 新改革戦略」の取り組みについての概要や、  
ESC や ACC など主な安全運転支援システムの普及予測について掲載 !!**

## 《ETC 車載器・DSRC サービス市場》

2008年度のETC車載機のセットアップ件数は、昨年並みに順調な伸びを見せている。しかし、今後の市場規模をみていくうえでは、再セットアップ件数の増加は、重要なファクタを占めるとされる。そのため、当研究会では、再セットアップ件数を除いた新規セットアップ件数についての予測を行った。その結果、2012年には、[再セットアップ件数は総セットアップ件数の40%を超えるため、新規セットアップ件数は310万台](#)になると、昨年度の予測500万からを大幅に下方修正を行った。

DSRCサービスの市場については、まだ、インフラ整備に対するスケジュールが見えないこと、車載器がどのような形で市場に販売されるか不透明なことから、[2009年度で10万台、2012年で100万台程度と予測](#)と下方修正している。

**!! 今年度から新たに  
ETCの再セットアップ台数を除いた新規セットアップ比率・台数を予測!!**

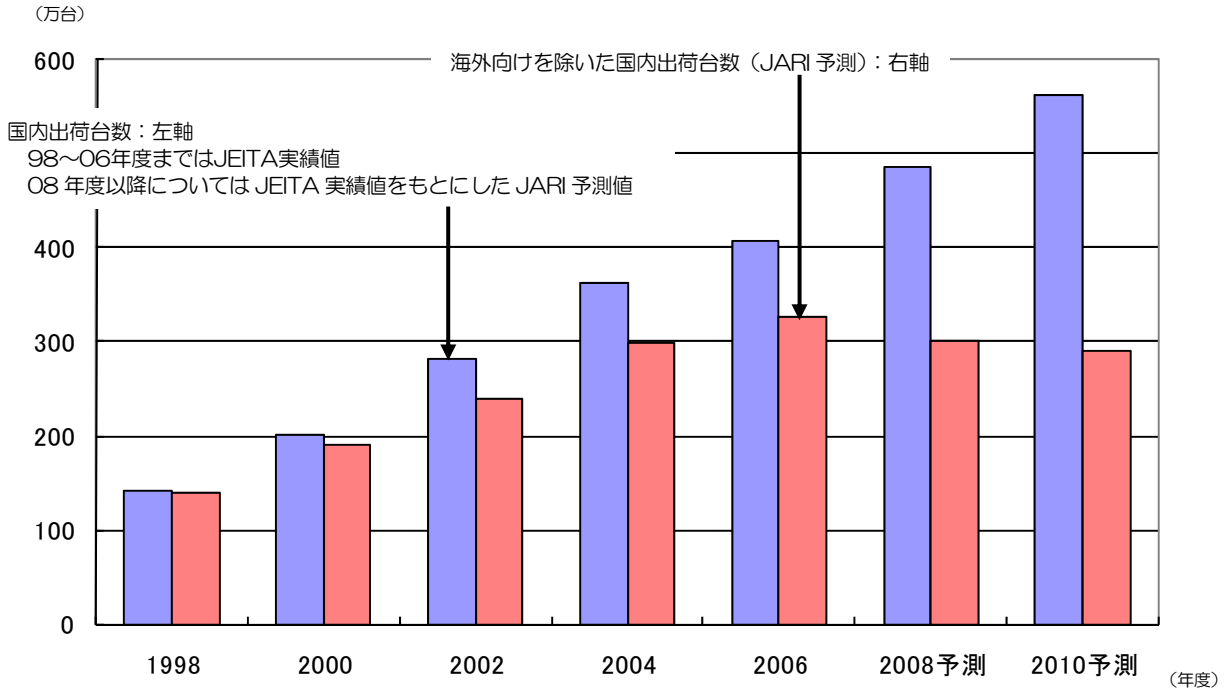
## 《車両運行管理・ロジスティクス市場》

新しい車両運行管理システムのプラットフォームとなり始めた[デジタルタコグラフ](#)の市場について、各社のサービスを掲載するとともに市場規模の予測を行った。また、安全だけでなく、省エネにも大きく効果がある[ドライブレコーダー](#)についても製品の紹介や普及シナリオを併せて市場規模を予測した。

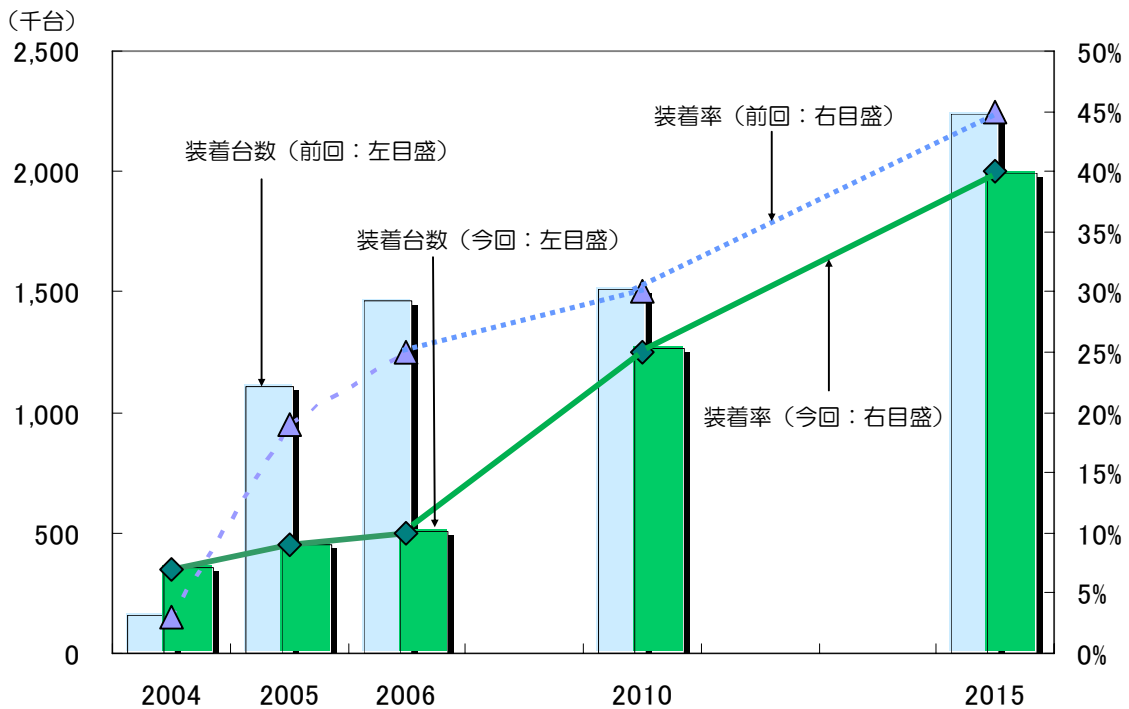
また、ITS技術を活用した運行管理・物流システムのASP（Application Service Provider）サービスを始め、[多方面で展開が進む運行管理システムの現状](#)や、[燃料高騰に伴う現状や対策](#)について紹介し、今後の発展に向けた課題について調査を実施した。

**!! デジタルタコグラフやドライブレコーダーについての市場予測を行うとともに  
運行管理システムについての現状の把握、最新の動きを網羅 !!**

## カーナビゲーションの国内出荷台数



## ESC の普及予測



## 《目次》

### はじめに

#### 第1章 調査研究の概要

- 1.1 目的
- 1.2 調査方法
- 1.3 調査内容

#### 第2章 ITS 産業を取巻く環境

- 2.1 国内景気の動向と ITS 産業の位置付け
- 2.2 ITS 市場予測の前提となる  
自動車販売・保有動向

#### 第3章 ITS 産業の市場動向と普及のための課題

- 3.1 ドライバーなどへの情報提供に関する ITS
  - 3.1.1 カーナビゲーション (国内)
  - 3.1.2 カーナビゲーション (海外)
  - 3.1.3 テレマティクスサービス
- 3.2 ノンストップ自動料金支払いシステム (ETC)  
および DSRC の応用
  - 3.2.1 ノンストップ自動料金支払いシステム
  - 3.2.2 狭域通信 (DSRC) の応用
- 3.3 安全運転支援に関する ITS
  - 3.3.1 概要
  - 3.3.2 安全運転支援システムの実現に向けて
  - 3.3.3 安全運転支援システムにおける  
通信メディア (電波) の活用
  - 3.3.4 安全運転支援システムの効果評価
  - 3.3.5 安全運転支援システムの普及見通し
  - 3.3.6 普及への取り組みと課題
- 3.4 車両運行管理・ロジスティクス
  - 3.4.1 概要
  - 3.4.2 トラック輸送業の動向
  - 3.4.3 運行管理システム
  - 3.4.4 デジタル式運行記録計 (デジタコ)
  - 3.4.5 ドライブレコーダー
  - 3.4.6 RFID タグを利用した物流システム

#### 第4章 今後、発展が期待される分野の動向

- 4.1 車載システムと外部の通信システム
  - 4.1.1 自動車を取り巻く通信の動向
  - 4.1.2 情報通信メディアの解説
  - 4.1.3 車外通信の課題
- 4.2 車載 LAN
- 4.3 モバイル関連技術の動向
  - 4.3.1 放送メディアの動向
  - 4.3.2 携帯電話の動向
- 4.4 HMI (Human Machine Interface) の技術動向
  - 4.4.1 アウトプットデバイス
  - 4.4.2 インプットデバイス
  - 4.4.3 直感的操作の支援
  - 4.4.4 エージェント機能
  - 4.4.5 今後の課題
- 4.5 車両位置表示・誘導システムの基本となる  
技術動向
- 4.6 エネルギー・地球温暖化問題に対する ITS
  - 4.6.1 はじめに
  - 4.6.2 自動車交通からの CO<sub>2</sub> 排出量の現状
  - 4.6.3 我が国の温暖化対策の目標値
  - 4.6.4 CO<sub>2</sub> 削減と ITS
  - 4.6.5 ITS を活用した交通流円滑化対策の事例
  - 4.6.6 今後期待される ITS
  - 4.6.7 関係省庁・団体の取り組み

#### 第5章 ITS 産業の将来展望

- 5.1 セカンドステージにおける ITS 推進の課題と  
提言
  - 5.1.1 安全・安心分野
  - 5.1.2 環境・効率分野
  - 5.1.3 快適・利便分野
- 5.2 ITS 各サービス主要分野における課題と提言
  - 5.2.1 ドライバーへの情報提供サービス
  - 5.2.2 ETC および民生用 DSRC 応用サービス
  - 5.2.3 安全運転支援に関する ITS
  - 5.2.4 運行管理・物流システム
- 5.3 ユーザー・販売事業者の視点からの課題と提言
  - 5.3.1 ユーザー団体の立場から
  - 5.3.2 機器・システム販売事業者の立場から
- 5.4 ITS 産業育成への課題と提言のまとめ

#### 付録 ITS の市場動向

(2007年9月～2008年8月までの主な動き)

#### ◇本件に関するお問い合わせやお申し込み先:

財団法人 日本自動車研究所 (JARII) 企画・研究グループ 国弘

電話: 03-5733-7924 FAX: 03-5473-0655 Eメール: kyui@jari.or.jp